

2025年度 新発田支部 支部交流会 開催報告

2025年7月27日（日）9：30～12：00

会場 健康長寿アクティブ交流センター

参加者 16名

（医療6名、福祉4名、学校3名、地域活動2名、公衆衛生1名）

～支部活動の報告～

- ・しばた地域入退院連携ガイドについて
- ・在宅医療（栄養）推進事業報告



高齢化社会を迎え、地域に根ざした栄養・食生活支援体制を整えていくことが求められています。新発田地域では、2024年12月より、病院と在宅医療・介護関係者がスムーズに連携が図られることを目的として、『入退院連携ガイド』の運用がスタートしました。今回、この取組について、詳しく話を聞き、会員ひとりひとりが地域で多職種、自治体と連携して栄養ケア活動に参加することについて、具体的にイメージすることができました。



～グループワーク・情報交換会～

同じ職域ごとに行われました。日頃、職場に栄養士の仲間が少ない私たちにとって、情報交換、疑問解消のよい機会となりました。



こんな話題があがりました！

- 食材料費（物価高対策）について
- 委託業者の対応について
- 献立作成について
- アレルギー対応について
- 評価方法について
- 献立（ソフト）について
- マニュアル作成について
- 栄養士間の連携について
- 提供料量について
- 離乳食、発達障害の対応について

～交流会開催後のアンケートより～

- 情報交換ができてよかった。
- 同職域のグループワークが、共通の悩みや疑問を解消するよい機会となった。
- 今回の研修会がなければ、連携ガイドについて詳しく知ることがなかったと思う。栄養士として、職域を超えた知識を得られてよかった。